



2024年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月15日

上場会社名 前田工織株式会社
コード番号 7821 URL <https://www.maedakosen.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 前田 尚宏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 斉藤 康雄
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 0776-51-3535

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	41,900	12.0	8,058	29.9	8,175	32.5	5,591	57.7
2023年6月期第3四半期	37,414		6,203		6,171		3,545	

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 5,325百万円 (57.9%) 2023年6月期第3四半期 3,373百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	183.46	164.01
2023年6月期第3四半期	113.45	101.36

(注) 当社は、2022年6月期より決算期を9月20日から6月30日に変更いたしました。これに伴い、2022年6月期は第3四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	78,141	56,241	71.9
2023年6月期	74,821	43,430	58.0

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 56,173百万円 2023年6月期 43,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期		14.00		14.00	28.00
2024年6月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	8.6	10,100	18.9	10,000	15.1	6,800	29.3	223.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期3Q	32,972,242 株	2023年6月期	32,260,200 株
期末自己株式数	2024年6月期3Q	41,343 株	2023年6月期	1,901,149 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期3Q	30,481,200 株	2023年6月期3Q	31,252,098 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的になり、個人消費やインバウンド需要の回復により企業収益が改善し、緩やかな景気回復が続きました。一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料・エネルギー価格の高騰、中東情勢の地政学リスク、円安の進行、物価上昇を背景に、世界経済の景気後退リスクが高まっており、国内景気は不安定な状態が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは、2018年の創業100周年を機に、企業メッセージ「前田工織は混ぜる会社です」を掲げております。このメッセージには、当社グループが持続的成長を遂げるための強い思いを込めており、グループの持つあらゆる経営資源を「混ぜる」ことで、成長戦略である「M&A」、「海外事業」、「人材育成」を積極的に推進するための原動力になると考えております。

M&A戦略においては、当社グループがこれまで培ってきた繊維・樹脂の加工技術に捉われず、異分野がもつ様々な技術やノウハウを「混ぜる」ことで、新製品や新技術を創出してまいります。

海外事業においては、海外拠点の生産能力を拡充するとともに、外国籍企業との業務提携等を通じて国内外の技術や販売ネットワークを活用することで、当社グループ製品の市場拡大を目指してまいります。

人材育成においては、当社グループ社員全員を戦力化するほか、多様な人材を採用・育成し、それらの能力・経験から生まれる人的資源を「混ぜる」ことで、イノベティブな組織風土を築いてまいります。また、当社グループでは、「従業員の健康が会社の未来を決める」との考え方のもと、すべての従業員の健康に深く関わっていくことを決意し、「健康宣言」を行っております。今後も健康で働きがいのある職場づくりに向けた様々な施策に取り組んでまいります。

当社グループでは、上記成長戦略の具現化に向け、新たな中期経営計画となるグローバルビジョン∞「PART II」(2024年度～2027年度)を策定しております。

(単位：百万円)

	2023年6月期 (実績)	2024年6月期 (計画)	2027年6月期 (計画)
売上高	50,204	54,500	70,000
営業利益	8,493	10,100	12,000
E B I T D A	11,682	13,400	15,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,258	6,800	8,000

PART IIでは、当社グループ事業における成長分野への投資として、4か年で約150億円の設備投資を計画しており、旺盛な需要に対応した生産能力の増強や、生産ラインの自動化・省力化を進めてまいります。また、M&Aについては、4か年で約200億円の投資枠を設定し、既存事業とのシナジーや事業領域の拡大を狙った案件をターゲットに成長を加速させてまいります。さらに、当社グループ事業のグローバル展開として、2027年6月期の当社グループにおける海外売上比率を30%まで引き上げることを目標としております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は41,900百万円(前年同期比12.0%増)となりました。利益面におきましては、営業利益は8,058百万円(同29.9%増)、経常利益は8,175百万円(同32.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,591百万円(同57.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ソーシャルインフラ事業)

当社の公共工事業業は、盛土補強材において一部案件の納入遅れが生じた一方で、コンクリート構造物の補修・補強用資材、河川護岸材、海洋土木製品の販売が堅調に推移しました。利益面においては、製造原価の削減を進めたことに加え、原材料価格の高騰に対応した販売価格への転嫁も徐々に進んだことから、好調に推移しました。不織布関連の製品は、スパンボンド(連続長繊維不織布)の産業資材・自動車資材向け販売が伸び悩んだほか、マスク等の医療・衛生資材の受注が落ち込んだ結果、売上・利益とも計画に対して厳しい結果となりました。

獣害対策製品、園芸用ハウス、農業資材を取り扱う子会社の未来のアグリ株式会社においては、獣害対策製品の受注は堅調に推移したものの、園芸用ハウスや酪農用製品などの農業資材の受注が伸び悩んだことにより、売上・利益とも計画を下回りました。また、天幕や帆布生地製品を取り扱う子会社の未来テクノ株式会社では、防衛省向け製品の販売が順調に回復したほか、一部大型案件の受注や海洋土木製品の販売拡大が奏功したことから、好調な結果となりました。海外子会社であるMAEDA KOSEN VIETNAM CO., LTD.においては、原材料価格の高騰の影響があったものの、取扱製品の拡充により、売上・利益とも計画に対して順調に推移しました。

当事業の売上高は24,715百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は5,385百万円（同9.7%増）となりました。

(インダストリーインフラ事業)

自動車ホイール事業については、鍛造ホイールを製造・販売する子会社のBBS ジャパン株式会社において、自動車メーカー向けOEM供給やアフター市場向け製品が好調に推移したほか、同社のドイツ子会社BBS Motorsport GmbHの業績が大きく伸長した結果、前年同期と比べ売上が伸長し、利益は大幅に上回る結果となりました。

精密機器製造用ワイピングクロス、衣料・各種産業資材用の丸編製品を製造・加工・販売する子会社の未来コーセン株式会社においては、電力料や仕入れ価格の高騰によるコスト増加の影響があったものの、ワイピングクロスの売上が回復傾向にあることから、売上・利益とも順調に推移しました。

当事業の売上高は17,184百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益は3,479百万円（同67.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,319百万円増加し78,141百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5,867百万円増加いたしました。これは主に、原材料及び貯蔵品が575百万円、仕掛品が402百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が4,497百万円、電子記録債権が1,555百万円、商品及び製品が1,066百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,547百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が358百万円増加したものの、投資その他の資産が2,917百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ9,491百万円減少し21,899百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ9,093百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他が914百万円、電子記録債務が830百万円、未払金が760百万円それぞれ増加したものの、1年内償還予定の新株予約権付社債が8,469百万円、短期借入金が2,134百万円、未払法人税等が963百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ398百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が246百万円、リース債務が155百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12,811百万円増加し56,241百万円となりました。これは主に、資本金が1,180百万円、資本剰余金が2,480百万円、利益剰余金が4,559百万円それぞれ増加し、自己株式が4,858百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月14日に第2四半期決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,576	19,074
受取手形、売掛金及び契約資産	9,389	9,242
電子記録債権	4,000	5,556
商品及び製品	5,880	6,946
仕掛品	2,295	1,893
原材料及び貯蔵品	5,486	4,910
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	120	—
その他	640	640
貸倒引当金	△31	△37
流動資産合計	42,358	48,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,071	15,128
減価償却累計額	△6,054	△6,315
建物及び構築物(純額)	9,016	8,813
機械装置及び運搬具	20,975	23,018
減価償却累計額	△13,964	△15,223
機械装置及び運搬具(純額)	7,011	7,794
土地	4,405	4,320
リース資産	4,692	5,014
減価償却累計額	△1,277	△1,682
リース資産(純額)	3,414	3,332
建設仮勘定	719	632
その他	3,997	4,178
減価償却累計額	△3,285	△3,434
その他(純額)	711	743
有形固定資産合計	25,278	25,637
無形固定資産		
ソフトウェア	89	209
ソフトウェア仮勘定	37	0
商標権	509	472
技術資産	15	—
その他	771	752
無形固定資産合計	1,423	1,435
投資その他の資産		
投資有価証券	4,205	919
関係会社長期貸付金	—	120
繰延税金資産	997	732
その他	558	1,071
投資その他の資産合計	5,760	2,842
固定資産合計	32,463	29,915
資産合計	74,821	78,141

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,835	2,054
電子記録債務	1,762	2,593
短期借入金	2,379	244
1年内返済予定の長期借入金	1,152	1,194
1年内償還予定の新株予約権付社債	12,010	3,541
未払金	1,365	2,126
リース債務	578	635
未払法人税等	2,178	1,215
賞与引当金	975	625
その他	748	1,663
流動負債合計	24,988	15,894
固定負債		
長期借入金	944	697
長期未払金	613	612
リース債務	3,532	3,377
繰延税金負債	27	34
役員退職慰労引当金	34	36
退職給付に係る負債	1,205	1,200
その他	46	46
固定負債合計	6,403	6,005
負債合計	31,391	21,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,472	4,652
資本剰余金	3,461	5,941
利益剰余金	39,763	44,323
自己株式	△4,966	△107
株主資本合計	41,731	54,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	759	360
為替換算調整勘定	872	1,006
退職給付に係る調整累計額	△1	△2
その他の包括利益累計額合計	1,630	1,364
新株予約権	68	68
純資産合計	43,430	56,241
負債純資産合計	74,821	78,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	37,414	41,900
売上原価	24,105	26,484
売上総利益	13,308	15,416
販売費及び一般管理費	7,104	7,357
営業利益	6,203	8,058
営業外収益		
受取利息	14	28
有価証券利息	9	9
受取配当金	4	8
為替差益	11	164
補助金収入	55	1
固定資産売却益	5	36
その他	40	117
営業外収益合計	139	364
営業外費用		
支払利息	101	158
固定資産除却損	18	44
自己株式取得費用	30	—
その他	22	44
営業外費用合計	172	247
経常利益	6,171	8,175
特別損失		
投資有価証券売却損	—	29
投資有価証券評価損	1,041	—
特別損失合計	1,041	29
税金等調整前四半期純利益	5,130	8,146
法人税、住民税及び事業税	1,767	2,074
法人税等調整額	△182	479
法人税等合計	1,584	2,554
四半期純利益	3,545	5,591
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,545	5,591

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	3,545	5,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184	△399
為替換算調整勘定	13	133
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△172	△266
四半期包括利益	3,373	5,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,373	5,325

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、2019年4月18日に発行した「2024年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債」の新株予約権の権利行使により、新株の発行と自己株式の処分を行い、資本金が1,180百万円、資本剰余金が2,472百万円それぞれ増加し、自己株式が4,807百万円減少しております。

主にこれらの影響により、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が4,652百万円、資本剰余金が5,941百万円、自己株式が107百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル インフラ事業	インダストリー インフラ事業	計		
売上高					
顧客との契約から 生じる収益	22,929	14,484	37,414	—	37,414
外部顧客への 売上高	22,929	14,484	37,414	—	37,414
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7	7	15	△15	—
計	22,936	14,492	37,429	△15	37,414
セグメント利益	4,907	2,076	6,984	△780	6,203

(注) 1. セグメント利益の調整額△780百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル インフラ事業	インダストリー インフラ事業	計		
売上高					
顧客との契約から 生じる収益	24,715	17,184	41,900	—	41,900
外部顧客への 売上高	24,715	17,184	41,900	—	41,900
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4	3	8	△8	—
計	24,720	17,187	41,908	△8	41,900
セグメント利益	5,385	3,479	8,865	△807	8,058

(注) 1. セグメント利益の調整額△807百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(転換社債型新株予約権付社債の権利行使)

当社が2019年4月18日に発行した「2024年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債」の残存価額について、当第3四半期連結会計期間終了後、行使期限である2024年4月4日までに全額権利行使が行われております。その概要は以下のとおりであります。

1. 行使された新株予約権の個数	354個
2. 行使された社債額面金額	3,540百万円
3. 発行した株式の種類及び株式数	普通株式 1,068,064株
4. 増加した資本金の額	1,770百万円
5. 増加した資本準備金の額	1,770百万円

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2024年5月15日開催の取締役会において、株式の分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 株式分割の方法

2024年6月30日(日)(同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質は2024年6月28日(金))を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する当社普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

① 株式分割前の発行済株式総数	34,040,306株
② 今回の分割により増加する株式数	34,040,306株
③ 株式分割後の発行済株式総数	68,080,612株
④ 株式分割後の発行可能株式総数	155,000,000株

(注) 上記①～③の株式数は、2024年5月15日現在の発行済株式総数を元に試算したものであり、2024年6月30日の分割基準日までの間に、新株予約権の行使等により増加する可能性があります。

(3) 分割の日程

① 基準日公告日(予定)	2024年6月13日(木)
② 基準日	2024年6月30日(日)
③ 効力発生日	2024年7月1日(月)

3. 定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づく取締役会決議により、2024年7月1日をもって、当社定款第6条に定める発行可能株式総数を以下のとおり変更いたします。

(下線は変更箇所)

現行定款	変更後
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>77,500,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>155,000,000株</u> とする。

(2) 定款変更の日程

効力発生日 2024年7月1日

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり四半期純利益	56円72銭	91円73銭
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	50円68銭	82円01銭

5. その他

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。